

諏訪湖エリアまちなか観光案内人による観光交流促進事業

取り組みに至る背景・事業の目的

- 諏訪湖エリアおもてなし向上推進会議では、岡谷市、諏訪市、下諏訪町、関係団体、地域住民との連携や協働を図りながら、諏訪湖エリアまちなか観光案内人協議会会員（ガイド）による「ふれあい・交流」の観光案内を展開している。
- 平成 19 年の大河ドラマ「風林火山」の放映による諏訪湖周辺地域への観光客の増加が一過性にならないよう、地域住民ならではの諏訪の魅力を確認し、発信する。
- 活動が 2 年目となるガイドの意識向上とレベルアップを目指す。

事業内容

- **ストーリー性のあるルートメニューの作成**
ガイドブックには載っていない地元住民ならではのルートメニューを作成した。
 - ・ 岡谷市産業遺産コース
 - ・ 高島藩ゆかりの場所を巡るコース等
- **ワークショップの開催**
考案したルートを実際に地域住民と一緒に歩き、市民から出された意見や旬の情報を取り入れ、ルートメニューの精査を実施した。（参加者 62 名）
- **ガイドレベルアップ研修会の開催**
平成 19 年に実施したガイド養成講座（おもてなしアカデミー）卒業生へも参加を呼びかけ、ガイド活動参画へのきっかけづくりを行った。
 - ・ 「諏訪大社と御柱祭」と題した講演会を開催（参加者 63 名）



【まち歩きツアーの様子】

事業効果

- ルートメニューの精査にあたり、一般市民やおもてなしアカデミー卒業生らが参加する魅力発見ワークショップを開催し、観光コースの内容や商品としての価格などの意見、地元ならではの情報を反映させることができた。
- 平成 22 年の御柱祭に備え、諏訪大社宮司を講師に講演会を開催し、ガイドの意識の向上とレベルアップにつながった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 今年度造成した観光コースを商品化することにより、新規観光客やリピーター客、諏訪ファンを増やし、平成 21 年のプレ御柱、平成 22 年の御柱祭へとつながるような事業を展開する。
- 観光コースの充実を図るとともに、蓼科・八ヶ岳山麓など新規コースを造成して観光ルートを増やす。
- 地域住民に地元の自然や文化などの観光資源を発掘・再発見してもらい、新規ガイドとして養成する。

【選定のポイント】

観光ルートづくりに地域住民が参加し、地元ならではの情報を入れたルートマップを作成し、このマップを活用した真のおもてなしガイドの育成を進めるなど、諏訪地域の観光活性化に寄与した。

団体名	諏訪湖エリアおもてなし向上推進会議 (諏訪市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	諏訪商工会議所 電話 0266-52-2155	事業費	464,501円
		支援金額	400,000円